



長野市民病院広報誌

<http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

あした 元気に なあれ

Become energetic tomorrow.

●今号より誌面リニューアルしました。

第44回

知っておきたい

医療の知識

片側顔面けいれん

Hospital Eye!
東日本大震災
とともに
助け合おうと
いうこと。

病院長インタビュー
改めて考える
地域の基幹病院の
使命とは。

派遣スタッフの想い
現地での活動で感じた
ホスピタリティ。



●第5回長野市民病院

ふれ愛デー

(病院祭)

●登録医紹介／加藤内科

Vol.45 2011.7

ともに 助け合おう。 ということ。

「東日本大震災」

竹前 紀樹 たけまえ・としき
長野市民病院 病院長

71年信州大学医学部卒、同大学附属病院等で勤務。78年同大学脳神経外科助手、相澤病院脳神経外科医長。81年カリフォルニア大学サンディエゴ校留学。

信州大学脳神経外科・救急部講師、信州大学助教授を経て、93年長野市民病院副院長、07年同病院長、信州大学医学部臨床教授。

専門は、脳血管障害、脳腫瘍（下垂体腫瘍等）、頭痛、三叉神経痛、顔面痙攣、救急医学等。

改めて考える 地域の基幹病院の 使命とは。



災害派遣はまさに全人的な医療を求められます。故郷が壊滅的状态となった避難所の方々の心の不安や苦しい胸の内を受け止める“傾聴”も救護チームにとっては大切な役割のひとつです。

3月11日、東北地方を襲った「東日本大震災」。震災の深刻な被害が刻々と伝わり、日本中の人々が「何かの役に立てないか…」という気持ちでいっぱいでした。長野市民病院では長野県の医療支援活動に協力して、救護班の派遣を行いました。

医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の5人で1チームを構成し、3月20日の第1陣から第4陣まで、それぞれ2泊4日（第4陣は3泊5日）の日程で、宮城県石巻市へ向かいました。

人口16万人の石巻市は津波被害が甚大で、死者・行方不明者5千人以上を出していました。

長野県のチームは石巻赤十字病院や、青葉中学校などの避難所を含む海岸から3km程度の範囲にある避難所などを担当。余震も続き、救援活動中でも津波の発生が予想されていました。第1陣は、バスの中で睡眠を取りながらの活動でした。

私が最初に医療チーム派遣を発表すると、院内のあらゆる部署から、編成に困るほど多くの希望者が集まりました。

このとき、当院で働くスタッフは「困っている人を助けたい」という思いを人一倍強く持っている

のだと、改めて感じました。

このたびの大震災の経験を活かして、私たち長野市民病院が地域に果たす役割を、いま一度振り返ってみなければなりません。

災害はいつ起きるかわからないもので、予期することは不可能。そして瞬時にして私たちの生活にダメージを与えます。

この病院を取り囲む地域は、もともと河川敷なのですが、病院の建物構造は災害を想定して念入りにしっかりと強化してあります。また、近年はヘリポートや救急医療設備などハード面での充実を図りました。

今後はソフト面でも機能強化を図るため、大きな災害に備えて、いま最も災害救護対策に有効であるとして世界中が救急・災害医療シュミレーションモデルとして注目している「エマルゴ」の訓練を取り入れていきます。

長野市民病院は、これから地域の皆さまのために、大災害時には地域災害医療の拠点病院となるべく、安全・安心を提供するという大きな使命を果たしていかなければなりません。このたびの災害派遣の経験が活かされ、確実に機能するために、さらなる組織の力を高めていこうと考えています。

1チームでダンボール3～4箱分の必要と予想される医薬品を持ち込みました。不足している医薬品は携帯電話で連絡し、次のチームが搬送して手渡しする事ができました。



現地での活動で感じた ホスピタリティ。

多種多様な専門職が集まり 初めて起こる事に チームで対処する力を養う

看護師
田中

石巻赤十字病院、そして約750人が避難していた青葉中学校の避難所で救護活動をしました。この体験で思ったことは、災害は、本当にいつどこで起こるかわからないということです。

そして被災した現場では、みんなが心を1つにして支え合っていかなければいけないのです。1人の力は小さいですが、いろいろな職種の人間が集まり、どういう対応が最も必要とされているのか、瞬時に判断を重ねて対処していくことが必要です。忘れてはならないのが、他のチームとどう情報を交換するかということ。これが最も大切なことになるでしょう。

次に災害現場に入ったら、 必ずこの派遣の 経験が役に立ちます

事務員
瀧澤

第1次派遣隊として3月20日夜に石巻市に入り、バスの中で寝泊まりして救護にあたりました。大震災の8日後で、まるで時間が止まっているかのような状態。まず避難所でケガをされている方々などの会話にショックを受けました。「〇〇さんが亡くなった」とか「遺体安置所で〇〇さんを見つけた」とか…。

私たちの派遣隊は、出動する3日前に結成されたのですが、チームワークはとても良かったです。毎日の状況をメールし合ったりして、励まし合えたことも支えになりました。次に災害に遭遇したら、一歩進んで役に立てる自分になりたいと思います。



田中 弘子 たなか ひろこ

看護師／長野市民病院 第一外来看護師長。

当院被災地派遣第2陣

派遣期間：4/9(土)～4/12(火)

瀧澤 卓三 たきざわ たくみ

調整事務員／長野市民病院 医事課事務員。

当院被災地派遣第1陣

派遣期間：3/20(日)～3/23(水)

ともに
助け合うと
いうこと。
「東日本大震災」

お世話になった宮城県を 助けられるなら… 薬剤師だからできること

薬剤師
石坂

私は大学が仙台市内だったこともあって、今こそ何か役に立ちたいと志願しました。被災から約1カ月が経っていましたが、道なき道を進み、車のタイヤがパンク。でも前の派遣チームから受けた地図がかなり役立って、緊急時の情報伝達の大切さを痛感しました。

避難所の方々は、常備薬や健康保険証など全てを流されてしまって、飲んでいた薬を思い出せない方もいました。同じ薬がなくても代用薬をお渡ししました。この時、自分が薬剤師であるからこそ、役に立つのだと感じ、帰ってからますます薬剤師としての勉強に励もうと思ったのです。

さまざまな立場の人に 支えられて、初めて 医療が成り立つと実感

医師
坂口

4月9日に被災地へ入りました。大震災から約1カ月経っていましたが、私は目にする光景に衝撃を受けました。街は、まるで教科書で見た東京大空襲の写真のようでした。

今回の災害派遣では、医療というものは、いろいろな立場の人に支えられて、初めて成り立つということを、改めて強く感じました。とにかく医師は、毎日の医療現場が自分中心に回っていると錯覚して、お山の大将になりがちです。長野県庁の皆さんや当院のスタッフたちが、僕たちの食べる物、着る物を準備してくれたことや、車での送迎も有難く、本当に感謝しています。

Hospital
Eye!
Vol.01

石坂 絵梨子 いしざか えりこ
薬剤師／長野市民病院 薬剤部薬剤師。
当院被災地派遣第3陣
派遣期間：4/19(火)～4/22(金)

坂口 治 さかぐち おさむ
医師／長野市民病院 救急科部長。
専門は救急医療。
当院被災地派遣第2陣
派遣期間：4/9(土)～4/12(火)

出発に際し出陣式が行われました。現地に向かうスタッフだけでなく、物品準備や業務を代行するスタッフなど、病院を挙げての支援でした。



避難所では、倉庫や小さな空き部屋を利用し診察を行いました。段ボール箱を机に利用するなど、物資の足りない中での活動でした。

さまざまな 救護チーム 思いは1つ。

被災地には、自衛隊を始め全国からさまざまな救護チームが集まりました。「それぞれスタイルや経験は違って、活動する気持ちはみんな同じだった」(帰郷した長野市民病院の救護スタッフ)



第1陣(3/20～)が到着した時は、災害発生直後ということもあり、避難所では安否を確かめるメッセージカード等でいっぱいでした。

ともに
助け合う
という
こと。
「東日本大震災」

宮城県石巻市

県内第二の人口を擁する宮城県石巻市。東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)による津波では、旧北上川河口から旧市街地、新北上川(追波川)河口部から流域部、石巻湾から太平洋側までの旧雄勝町・河北町・北上町及び旧・牡鹿町を含む牡鹿半島の海岸部の各浜が壊滅的な被害を受けました。



第1陣の帰院に伴う院内での報告会。大会議室がいっぱいになる程の職員が参加したことから、医療人としての関心の高さが伺えました。

被災者でありながらも活動している石巻赤十字病院のスタッフを同じ医療者として励ましたいと当院職員有志により寄せ書きが作成され、第3陣により、手渡されました。

知っておきたい

医療の知識

第44回 ● 片側顔面けいれん

まぶたや頬、口元などの顔面の一部が自分の意志とは別にびくびく動いてしまう顔面のけいれん様の動きには様々なタイプがあります。疲労や高度の緊張の際にまぶたがびくびく動くのを経験された方も多いと思います。殆どの場合には、休息を取れば改善します。しかし、中には片側のまぶたに限ってびくびくしたけいれんからはじまり、徐々に頻度も動く範囲も広がって行く「**片側顔面けいれん**」という病気があります。はじめのうちは、緊張した時やストレスの際のみにまぶたの周囲にけいれんが起きますが、徐々に頻度や持続時間が長くなって行き、やがて一日中起るようになります。緊張やストレスでさらに悪化したりもします。けいれんの範囲も次第にまぶたと同じ側の口元や首筋、額にまで広がります。

片側顔面けいれんとは・・・



大屋 房一

長野市民病院
脳神経外科部長
専門は脳血管障害、
脳血管内治療

自分の意志では止めることができませんが、ある特別な体位(患者さんにより様々です)を取るとけいれんが減少することに気づくこともあります。中年以降の女性に多く、30歳以下の若い方や両側に起こることは稀です。けいれんが口元からはじまる方も1割ほどいらっしゃいます。

片側顔面けいれんの原因は、小脳を養う血管(動脈)が何らかの原因で近くにある顔面神経を圧迫することです。起きます。同じ様な顔面のけいれんには他にも眼瞼けいれんやミオキミー、顔面神経麻痺後のけいれんなどがあります。脳神経外科や神経内科などで診察やMRI検査を受けていただく場合で診断を付けることができますが、けいれんがごく軽いうちは、診断が難しいこともあります。

片側顔面けいれんそのものは、命の危険がある病気ではありませんので、気にならなければ放置をしても差し支えはありません。しかし、けいれんが気になって日常生活や人と会うお仕事で差し障りが出る様であれば、治療を考えることとなります。治療には、根本的治療と対処療法があります。まずは根本治療ですが、片側顔面けいれんの原因は小脳動脈による顔面神経への圧迫なので、これを脳神経外科手術で解除すれば、約9割以上の例でけいれんはピタッと治癒します。しかし、手術にはごく少ないながら合併症の危険性もあります。一方、対処療法には2つあります。一つは抗不安薬や抗けいれん剤の内服で、最も手軽に行なえます。しかし、その効果が弱いことや眠気などの副作用が出るという欠点があり

ます。もちろんお薬を止めればけいれんが再発します。もう一つはボツリヌス毒素(ボトックス®)をけいれんしているまぶたや口元に注射する方法です。ボツリヌス毒素には神経と筋肉のつながりを薬で断つてしまう効果があり、けいれんを治めることができます。一度注射をすると数ヶ月は効果がありますが、あくまで対処療法であるため、年に数回、ずっと注射を続けて行く必要があります。以上のように治療法にはそれぞれ一長一短があり、どの方法を選択するかは迷う所です。

当院の脳神経外科、神経内科外来では、上記の治療法を良くご説明し患者さまのニーズにあった治療法を行なっていますので、どうぞお気軽にご相談ください。



EVENT
REPORT

病院祭

第5回

ふれ愛デー が開催されました。

毎回到ぎわいを見せる各種体験コーナー（褥瘡予防）。



200名以上の来場者があった、画家原田泰治さんの講演会。演題「一本の道」では、スライドで自身の作品を上映しながら、原田さんの半生を語っていただきました。



きのこ、山菜、漬物類、大福、あんぼなどの郷土食の販売を行った「がんばれ栄村！栄村地域物産販売」。開始早々からの人気で、お昼ごろには見事完売。
震災被害を伝えるための展示スペースや義援金募金箱も設置しました。売上金や義援金はすべて、栄村へ寄付させていただきました。



来場者も真剣そのもの、AED体験。

当院の病院祭が、今回より名前を変更し、「第5回ふれ愛デー」として6月4日に開催され、約1500人もの方に来場頂き大変な盛会となりました。
内容も充実し、毎回恒例の骨密度測定、AED体験などの各種体験コーナーや施設見学ツアー、ボランティアによるバザー、地元古里小学校児童の皆さんによる合唱のほか、特別ゲストとして画家でグラフィックデザイナーである原田泰治さんをお招きした講演会、長野県北部地震で被災された栄村を少しでも応援できればという意を込めた栄村の物産販売を行うなど、バラエティに富んだ催しで来場された方々に楽しんでいただくことができました。

元気に、明るく
ともに支え合う



ピースドッグとのふれあいコーナー
（「災害救助犬十日町」による実演）。



バルーンアートも登場した
盛況のキッズコーナー。



普段見る機会の少ない
救急車の展示。

市民健康講座

Report!
第12回
2011.
6.4 (土)

**メタボの次はロコモ!!
健康寿命を延ばすカギ**

運動器が衰えることにより、要介護の状態や、要介護になるリスクの高い状態になる「ロコモティブ・シンドローム」。当院整形外科では、この「ロコモ（略称）」の予防として、スクワットや片足立ちなど簡単なトレーニングを勧めています。今回は、ふれ愛デーの中で実演を交えた講演を行いました。



南澤育雄 医師

長野市民病院 リハビリテーション科部長
整形外科科長

第1部 市民公開講演会
会議室 4・5・6 / 10:30~11:00

当院では、地域の皆さまが病気や医療について知識を深め、健康維持増進に役立てていただけるよう、定期的に市民健康講座を開催しております。

第12回目となる今回は、「第5回ふれ愛デー」と同時開催となりました。講師を担当したのは、当院の南澤育雄医師と大道雅英医師の2名です。それぞれのテーマに對しわかりやすい講演内容で来場された方々は、とても満足した様子でした。

緩和ケアについて どんな効果があるの？

疾患による痛みや身体的、心理社会的な問題を障害とならないように予防対処し、生活の質を改善する事をサポートする「緩和ケア」。日本では緩和ケアの対象となるのは、ほとんどの場合、がんの患者さんです。

今回の講演では、緩和ケアをがん治療と並行して受けることによる延命効果について触れるとともに、当院における緩和ケアの取り組みについて説明しました。



大道雅英 医師

長野市民病院 緩和ケア内科科長

第2部 がん診療公開講座
会議室 4・5・6 / 12:30~13:00

次回予告

第13回市民健康講座 平成23年10月1日(土) 13:00開場 14:00開演

【会場:ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)中ホール

●第1部 地域がん診療連携拠点病院講演会

「大腸がんについて ~内科の立場から~」【講師】長野市民病院 消化器内科科長 原 悦雄 医師

「大腸がんについて ~外科の立場から~」【講師】長野市民病院 外科科長 高田 学 医師

●第2部 市民公開講演会

「脳卒中の予防と治療」【講師】長野市民病院 病院長 竹前 紀樹 医師

入場無料
申込不要

登録医紹介

加藤内科

長野市神楽橋

●院長 加藤國之先生

登録医制度により「地域医療連携システム」が導入されて以来、患者さまを長野市民病院にご紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所へ逆紹介させていただくケースが増えています。

広報誌では日頃お世話になっている登録医の先生を随時紹介していきます。



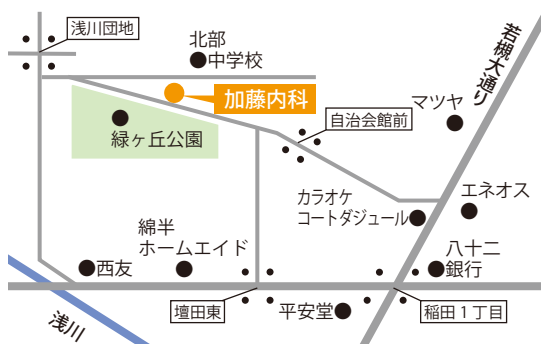
院長の加藤國之先生

加藤内科は昨年12月、長野市北部・神楽橋にある緑ヶ丘公園のすぐ北側にリニューアルされたばかり。真新しい白い建物が目印です。今の季節は公園の緑が色鮮やかで、待合室の窓から眺めるその景色はとても気持ちよく感じられます。

院長である加藤國之先生は、昭和大学医学部第3内科のご出身です。循環器内科をご専門にされ、当時は手の施しようがないとされていた心不全の治療に精力を注がれた、まさにこの分野の「草分け的存在」でいらっしやいます。学生の頃から物理が好きで、不整脈モニターなどさまざまな電子機器を扱う技術を生かせることから循環器の道に進まれたといいます。また、そうした機器の修理も自ら行い、周りからは「医局内の電機屋」と呼ばれる程その手先の器用さは評判だったそうです。今でも日曜大工を趣味とされていて、院内のちょっとした棚などは先生が自作されているのだとか。

そんな先生のモットーは、「患者さまやそのご家族の方々に満足してもらええる医療を提供すること、それに尽きます」とのこと。「そのためには治療に関して理解・納得してもらええるまで、とことん説明する。会話はお互いの信頼関係を築く上で、もつとも大切なことだと考えています」決してテクニクだけではない、心の通った医療の提供に努めていらっしやるところに先生の誠実さを感じます。

加藤内科では、「お勤めされている方にも来院いただけるよう、また、他のクリニックさんのカバーができれば」との思いから、朝の7時には扉を開けて予約を受け付け（診療は9時〜）、診療は夜の19時まで行っているらしいです。常に患者さまの目線に立ち、患者さま本位の診療を心がけていらっしゃる先生は、多くの人の手助けをしたいという強い信念を持ち、今日も患者さまと向き合っています。



加藤内科

診療科目／内科・循環器科
所在地／長野市神楽橋 10-111
TEL / 026-243-6877

診療時間／
平日：AM 9:00 ~ 12:30
PM 4:00 ~ 7:00
金：AM 9:00 ~ 12:30
PM 5:00 ~ 7:00
木・土：AM 9:00 ~ 12:30

出前講座

でまえこうざ

Pick Up!

長生きするための 呼吸体操

長野市民病院では、市民の皆さまに健康増進や医療の知識習得のためにお役立ていただこうと、医療スタッフが皆さまの元へとお伺いして、出前講座を実施しております。

幅広い分野の現場エキスパートが、治療や病気に関する知識、手軽にできる健康運動などをわかりやすく紹介致します。

今回は、中でもリピーターの多い、「長生きする呼吸体操」講座をピックアップし、講師を務める内藤郁子看護主任にお話を伺いました。





「長生きするための呼吸体操」 講座では、どんなことを するのですか？

腹式呼吸を取り入れた、どなたでも簡単に、かつ、ご家庭でも手軽にできる健康体操を紹介していきます。腹式呼吸の利点をビデオを使ってわかりやすく丁寧に説明しながら、実際に参加者の皆さんにも実践していただきます。

呼吸体操には どのようなメリットが あるのでしょうか？

人間の体は加齢にともない全身に酸素を送り届ける機能が低下してしていきます。その結果、少し動いただけでも息切れしやすくなり、体を動かすことがどんどん億劫になってしまいます。そこで腹式呼吸によって全身の血流を改善し、息切れしにくく動きやすい健康な体づくりをしましょう、というのがこの講座の目的です。腹式呼吸は寝姿勢でも行うことができ、また、体に痛みがある

方でも、呼吸法ですので無理なく実践していただけます。「あちこち痛いから、運動は無理かなあ…」と、今まで躊躇ちゅうちよされていた方も是非気軽にご参加ください。

実際の講座は どんな雰囲気ですか？

この講座では、私たち病院職員と地域の方々との交流はもちろんのこと、地域の方同士の流れあいをとても大切にしていきます。単なる健康のための体操ではなく、グループになって歌を歌ったり、ペアを組んで肩を揉み合ったり、コミュニケーションを非常に重視したプログラムになっています。そうすることで、自然と皆さん笑顔になって楽しんでくださいます。実は笑うこと自体が自然に腹式呼吸になっているんですよ。講座開始前には緊張されていた方も、終わる頃にはお友達を作って大きな声で笑いながら帰られていくのを見ると、こちらもとっても嬉しくなります！

出前講座のご案内【無料】

- 長生きするための呼吸体操【実技】
- 怖いものなの??放射線
- 転倒予防教室【実技】
- ウォーキング 歩き方・靴の選び方【実技】
- 嚥下体操【実技】
- 口から始める健康(歯周病・口腔ケア)
- くも膜下出血の予防と最新治療など

この他にもたくさんの講座を開講しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

長野市民病院

検索 [ホームページ http://www.hospital.nagano.nagano.jp/](http://www.hospital.nagano.nagano.jp/)

※5～20人位までのグループでお申し込み下さい。※開講時間／月～金の祝日を除く9:00～17:00の間
※ご希望の日時、講座名、開催場所、参加人数、グループの代表者を電話・FAXにより2カ月前までに、下記にご連絡ください。

長野市民病院 地域医療連携室

TEL 026-295-1611 FAX 026-295-1152 担当者 小林・横川

参加しませんか

市民病院

ぎやらりー

長野市民病院では、病院内のコミュニティスペースを利用した「市民の皆さまが参加できる」ギャラリーを開設しています。個人、サークル等の団体を問わず、お申し込み頂ければどなたでも参加できます。この広報誌でも、ギャラリーに参加された皆さまの活動を紹介していきます。



ギャラリーへの展示ご希望の方

- お問い合わせ／お申し込み
長野市民病院 総務人事課まで

今回ご紹介する皆さま

飯綱町／パッチワークグループ「わらび」

- 桜井さん ●大久保さん ●宮澤さん
●山田さん ●泉井さん(リーダー) ●高木さん

気の置けない自慢の仲間達だと口を揃えて言う仲のよい6人。「一針、一針、手作業でつくる作品を見て、パッチワークの楽しさと温もりを感じていただけたら」と長野市民病院への展示に参加していただきました。

約10年前、手芸店主催のパッチワーク教室で知り合った4人が始めたのが活動のきっかけ。メンバーの友人も誘い現在の6人に。十日町のキルト展への出展や毎年、小布施町の病院にベッドカバーを寄贈しているなど精力的に活動しているそうです。



活動は毎月第2・第4木曜日、飯綱町の福井団地コミュニティーセンターで行っています。お昼も皆さんで持ち寄りながら作品作りに励む、とても楽しいサークルだそうです。

VOICE

みなさま の声

長野市民病院では、外来・入院の患者さま、お見舞いなどでご来院になった方から様々な病院に関するご意見、ご要望をいただいております。一部ではありますが、定期的にこの広報誌の中でご紹介し、お応えしていきたいと思っています。

ご意見

(入院患者さま)

初めての病院でしたが、よい病院だと思います。病棟看護師のフレンドリーさというものは善し悪しで、返事は「うん」ではなく「はい」の方がよいと思います。

お応え

(看護部長)

接遇には十分注意してまいりましたが、不快なお気持ちにさせてしまい申し訳ございませんでした。
患者さまお一人おひとりが快適な入院生活を送っていただけるよう今後も指導していきたいと思っております。
ご意見ありがとうございました。



株式会社 本久様より
貴重なご寄付をいただきました。
ありがとうございます。

● 自動血圧計 2台
● ベッドサイドモニター 4台
● 車椅子(点滴スタンド付) 10台
● 歩行車 5台



長野市民病院 採用情報

看護師病院見学説明会 8/13(土) 9:00～

※詳細はホームページをご覧ください。長野駅からの送迎バスあり。
※左記以外及び夏休み期間中の見学、インターンシップをご希望の方は、
電話、メールにてご相談ください。

医師修学資金利用者募集中！ ●医学部4～6年生対象 ※詳細はホームページをご覧ください。

職 種	応募条件など	募集人員
医師 後期研修医	詳細は当院ホームページをご覧ください。	数名
看護師	正規職員／有資格者または資格取得見込者。交替制勤務が可能な方 非正規職員／有資格者。①交替制勤務は難しいが、8:30～17:15の時間帯で6～8時間の勤務が可能な方。 ②19:00～23:00の勤務ができる方。週2回～5回まで勤務日数は応相談。 上記に関わらず透析室勤務希望の方、是非ご相談ください。	数名
薬剤師	正規職員／平成24年春新卒者に限る 非正規職員／有資格者、調剤経験のある方。勤務時間帯、勤務日数は応相談。	1名
臨床検査技師	正規職員／①有資格者かつ超音波検査（心エコー）の経験がある方。書類選考あり。 ②平成24年春、資格取得見込みの方 非正規職員／有資格者。①8:30～17:15（週5日勤務）検体検査経験者、歓迎 ②8:30～12:30（週3日勤務）。中央処置室での採血を中心とした業務。	各1名 各1名
管理栄養士	正規職員／①有資格者。書類選考あり。病院栄養科のマネジメント経験がある方、歓迎。 ②病院での栄養指導・栄養管理の経験がある方。	1名
理学療法士 作業療法士 臨床工学技士	正規職員／理学療法士のみ。有資格者。書類選考あり。 非正規職員／有資格者。平成23年春、資格取得者応募可。	各1名
看護助手	非正規職員／看護補助業務。8:30～17:15（休憩45分）土、日交替で勤務できる方。 早出、遅出できる方歓迎。介護福祉士有資格者優遇。	数名
事務職員	正規職員／医事課事務職員。病院の医事業務で実務経験、マネジメント経験がいずれも5年以上あること。 非正規職員／①急募！訪問看護ステーション医療事務員。医療事務有資格者で、医療レセプトの処理から請求まで一連の業務を1人で行うことができる方。 ②急募！健診センター事務職員。応対業務に自信のある方。パソコン操作（エクセル、ワード、パワーポイント）ができる方。医療事務資格の有無は問いません。 詳細は当院ホームページをご覧ください。	各1名

詳細は当院ホームページをご覧ください。
ご不明な点は右記連絡先にお問い合わせください。

長野市民病院

検索

<http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

長野市民病院 総務人事課
採用担当宛

〒381-8551 長野市富竹 1333-1

E-mail: career@hospital.nagano.nagano.jp

求人専用ダイヤル

TEL.0120-511-990

長野市民病院外来診療担当日一覧

記号の説明 ○：初診担当 ◎：完全予約制 ☆：午後のみ ◆：紹介のみ ▲：紹介、救急のみ
※：第3金曜日予約のみ ★：第3木曜日のみ ◇第2、第4火曜日、午後のみ

お近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。
「かかりつけ医」より紹介状を発行していただき、事前に予約の上ご来院ください。

外来診療担当表は、7月11日現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問い合わせください。

診療科	月	火	水	木	金	専門(常勤医)	
内科	○原 悦雄	須澤 兼一	西井 裕	☆稲田 浩之	○竹前 / ☆西井	平井一也(呼吸器) 吉池文明(呼吸器) 市山崇史(呼吸器) 海口陽子(呼吸器) 長谷部修(消化器・内視鏡) 原 悦雄(消化器・内視鏡) 越知泰英(消化器・内視鏡) 須澤兼一(消化器・内視鏡) 関連矢子(消化器・内視鏡) 長屋匡信(消化器・内視鏡) 多田井敏治(消化器・内視鏡) 神保陽子(消化器・内視鏡) 丸山隆久(循環器) 笠井俊夫(循環器) 酒井貴弘(循環器) 掛川哲司(腎臓) 竹前宏昭(腎臓)	
呼吸器内科	○吉池 文明	海口 陽子	神保 陽子	吉池 文明	○酒井 貴弘	西井 裕(糖尿病・内分泌代謝疾患) 春日広一(糖尿病・内分泌代謝疾患)	
消化器内科	平井 一也	梅村 武司	○平井 一也	長屋 匡信	○海口 陽子	青沼架佐賜(発達・神経・循環器・心身症) 池野 秀(免疫・アレルギー) 野田慶太(小児科一般) 浅岡麻里(小児科一般)	
循環器内科	越知 泰英	○市山 崇史	○越知 泰英	市山 崇史	原 悦雄	宗像康博(消化器・胃・大腸) 林 仁誌(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 関 仁誌(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 高田 学(消化器) 沖田浩一(消化器) 成本壮一(外科) 田上創一(外科) 村中 太(外科) 松村美穂(外科) 岡田正夫(外科) 吉澤一貴(外科)	
腎臓内科	○長屋 匡信	○丸山 / ☆春日	丸山 隆久	○春日 広一	○須澤 兼一	松田 智(上肢・末梢神経) 南澤育雄(骨折・リウマチ性疾患・股関節) 中村 功(脊椎) 山田誠司(関節疾患) 藍葉宗一郎(整形外科) 小松雅俊(整形外科) 山本宏幸(整形外科)	
内分泌・代謝内科	酒井 / ☆多田井	○多田井敏治	○笠井 俊夫	神保 陽子	笠井 俊夫	滝 建志(形成外科) 濱 ゆき(形成外科)	
	○西井 裕	掛川 哲司	○長谷部 修	○掛川 哲司	長谷部 修	○竹前/脳外科医師 交替制につき、担当日に ついてはお問い合わせ 下さい。	
	-	☆竹前 宏昭	-	★宮林 千春	☆西井 裕	竹前紀樹(脳腫瘍・脳血管障害・頭痛・三叉神経痛) 大屋房一(脳血管障害・脳血管内手術・脳腫瘍) 萩原利浩(脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 木内貴史(脳神経外科)	
小児科	浅岡 麻里	池野 一秀	野田 慶太	池野 一秀	浅岡 麻里	齋木 實(皮膚科)	
	野田 慶太	浅岡 麻里	青沼架佐賜	野田 慶太	青沼架佐賜	西澤秀治(悪性腫瘍・排尿障害・小児泌尿器) 飯島和芳(神経因性膀胱・悪性腫瘍) 山岸貴裕(泌尿器科一般) 塚田 学(泌尿器科一般)	
外消化器外科	-	○岡田 正夫	田上 創一	○村中 太	○吉澤 一貴	風間 淳(眼科)	
	○高田 学	○成本 壮一	宗像 康博	◆宗像 康博	関 仁誌	野村 康(耳鼻いんこう科) 大塚明弘(耳鼻いんこう科)	
	沖田 浩一	○林 賢	○沖田 浩一	林 賢	○田上 創一	橋田 巖(放射線治療) 今井 迅(画像診断・IVR) 所 博和(画像診断)	
	-	-	○松村 美穂	-	-	田村 稔(口腔腫瘍) 戸木田怜子(口腔外科)	
整形外科	○藤澤多佳子	○小松 雅俊	山本/☆◆藍葉	小松 雅俊	○山本 宏幸	山本寛二(神経内科) 小理 農(神経内科) 渡部理恵(神経内科)	
	○中村 功	○信大医師	中村 功	藍葉宗一郎	-	西村秀紀(呼吸器・乳腺・甲状腺) 小沢恵介(呼吸器・乳腺) 有村隆明(呼吸器・乳腺) 境澤隆夫(呼吸器・乳腺)	
	○☆山田 誠司	-	山田 誠司	-	○山田 誠司	森 篤(悪性腫瘍) 西澤千津恵(不妊症)	
	松田 智	▲松田 智	○藤澤多佳子	○松田 智	○藍葉宗一郎	大道雅英(緩和ケア)	
	南澤 育雄	▲南澤 育雄	○南澤 育雄	○藤澤多佳子	▲中村 功	坂口 治(救急科) 松本 剛(救急科)	
形成外科	○滝 建志	滝 建志	○滝 建志	滝 建志	○滝 建志	長野市民病院救急センター	
	濱 ゆき	○濱 ゆき	濱 ゆき	○濱 ゆき	濱 ゆき		
脳神経外科 (脳血管内治療科)	○大屋 房一	○萩原 利浩	○大屋 房一	○萩原 利浩	○萩原 利浩		
	萩原 利浩	木内 貴史	竹前 紀樹	大屋 房一	大屋 房一		
皮膚科	齋木 實	齋木 實	齋木 実	齋木 実	齋木 実		
泌尿器科	西澤 秀治	山岸 貴裕	西澤 秀治	山岸 貴裕	飯島 和芳		
	山岸 貴裕	塚田 学	飯島 和芳	塚田 学	塚田 学		
	-	-	-	◆西澤 秀治	※岡根谷利一		
眼科	風間 淳	風間 淳	風間 淳	風間 淳	風間 淳		
	-	中村 さち子	黒川 徹	-	-		
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	大塚 明弘	野村 康	野村 康		
	大塚 明弘	大塚 明弘	大塚 明弘	-	大塚 明弘		
放射線治療科	マズロ外来	橋田 巖	休診	橋田 巖	橋田 巖		
放射線診断科	-	-	-	-	-		
歯科・歯科口腔外科	○戸木田怜子	○田村 稔	○戸木田怜子	○鎌田 孝広	○田村 稔		
	田村 稔	戸木田怜子	田村 稔	-	戸木田怜子		
神経内科	○山本 寛二	山本 寛二	小平 農	○山本 寛二	山本 寛二		
	○渡部 理恵	○小平 農	○渡部 理恵	○渡部 理恵	○小平 農		
呼吸器外科	○境澤 隆夫	○有村 隆明	○西村 秀紀	○有村 隆明	○小沢 恵介		
乳腺外科	○小沢 恵介	西村 秀紀	境澤 隆夫	西村 秀紀	交替制		
婦人科	○西澤千津恵	休診	○森 篤	○森 篤	森 篤		
	-	-	西澤千津恵	西澤千津恵	○村中 篤愛		
緩和ケア内科	休診	◎大道 雅英	◎☆大道 雅英	◎☆大道 雅英	休診		
膠原病外来	休診	◇下島 恭弘	休診	休診	休診		
救急科	坂口 治	坂口 治	松本 剛	坂口 治	坂口 治		
8:30~17:30 担当医							

長野市民病院へのお問い合わせ

財団法人
長野市保健医療公社

長野市民病院

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL.026-295-1199 FAX. 026-295-1148

長野市民病院・医師会 急病センター TEL.026-295-1291

長野市民病院

検索

■発行人：竹前紀樹 ■編集：長野市民病院広報委員会

ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>